キッズみんなの日記

12月号

十二月に入り、本格的に冬の到来を感じる今日この頃でございますが、みなさまお元気に過ごされていらっしゃいますか。寒い時期は、何かと体調を崩しやすいので、体調には十分ご注意の上、お過ごしくださいませ。

さて、今回の「キッズみんなの日記」では、その時の状況を分かりやすく説明できている作品を取り上げました。その場にいるような気持ちになるくらい臨場感あふれる文章になっていますので、是非ご覧ください。みなさん少しずつ長い文章が書けるようになってきました！読み手に分かりやすい文章が書けるようになるためには練習あるのみです！みなさんの日記を楽しみにしています！

毎週土曜日に配信されるメルマガの小川の回「ゆっきー通信♪」では日記を書くにあたってのコツをご紹介しております。こちらも是非ご覧ください。

優秀作品紹介

★日常の一コマを生き生きと★

はじめてのおとまり

ともだちのSちゃんとキャスターボードをいっしょにしました。

Sちゃんのキャスターボードなのでじゅんばんにしました。

Sちゃんとわたしでいっしょにドッジボールをしました。

一年二くみのKSちゃんがはじめてのおとまりをしました。ほいくえんのおともだちでした。

（小一　KMさん）

キャスターボードで順番に仲良く遊んだことがしっかりと表現されていますね。初めてお泊まりに来たお友だちが保育園からのお友だちであることもちゃんと説明できましたね！

いち川どうしょくぶつえん

木よう日にいち川どうしょくぶつえんにいきました。

すごくとおかったです。まつひ台えきからはすぐに大町につきました。

さいしょはグループでどうぶつをみました。

そのあと、ミニてつどうにのりました。おべんとうもグループでたべました。かえりになかよしひろばでモルモットをだっこしました。かわいかったです。うさぎもなでました。フワフワでかわいかったです。

（小一　SEくん）

市川動植物園までの途中経路を分かりやすく説明できました。うさぎのかわいさを「フワフワ」と表現することで読み手に伝わりやすい文章になりました！

松戸市民柔道大会

今日は、柔道のし合がありました。一回せん目はせおいなげで一本をとりました。二回せん目はぼくのばいもたいじゅうのあるせんしゅと当たりました。でも、わざありをとって勝ちました。三回せん目は、今年の大会の二位のせんしゅと当たりました。でも、一本で勝ちました。四回せん目は、決勝でおととしの大会二位のせんしゅと当たりました。でも、りょうほうとも点数がとれないで、三分かんたってしまい、ゴールデンスコアに入り、二分くらいたったら、あいてにしどうが入り、ぼくは優勝しました。二年で初優勝できてうれしかったです。

（小二　SKくん）

優勝までのそれぞれの試合について相手選手のことやどんな技で勝ったかなどしっかりと説明ができていますね！まるでその場で試合を観ているような気持ちになります。優勝おめでとう！

三年生い下大会

今日、新松戸西小学校でソフトボールの三年生い下大会をしました。秋山ソフトボールチームの三年生い下十人と友だちが来ました。

しあいは、ぼくがキャッチャーでした。六番バッターでした。三回だせきに立って、ヒットを二回うちました。ショートゴロでMくんがファーストのSくんにボールをなげてアウトにしました。そしたら、三るいランナーがホームにきたからSくんがぼくにボールをなげてきて、タッチアウトにできました。でも、しあいはまけてしまいました。

人が少ないチームにさそわれたからいきました。

秋山チームの二しあい目はまたぼくがキャッチャーでした。このしあいの中ではじめてニベースヒットをうてました。しあいは、秋山がかちました。

試合の戦況を詳しく説明することができました！「キャッチャー防具をつけるのが大変」という素直な感想もとても良いですね。次はサードで試合に出られるといいね！

ぼくは、キャッチャーぼうぐをつけたりはずしたりするのがたいへんだったから、つぎはサードがいいです。

（小二　HTくん）

★★自分の思いを伝える★★

ぼくのたんじょうび

本当は、十一月の十五日だけど、その日は工事があるので、少し早く連休の日にやりました。お母さんと、お父さんと、おばあちゃんと、おじいちゃんとねこのちいちゃんとぼくで、たん生日をしました。

料理は、えびフライやいろんな食べ物があり、おいしかったです。プレゼントは、ベイブレードのむげんベイスタジアムをたん生日プレゼントにもらいました。もらってうれしかったです。

それで、おばあちゃんとベイブレードで勝負しました。ぼくが、何回も勝ってうれしかったです。

さいごにケーキを食べました。九つのろうそくをつけて、ハッピーバースデーをおじいちゃんがうたってくれました。

お父さんは、ビデオをとり、お母さんはピアノをひきました。おばあちゃんは、スマホでぼくのことをいっぱいとっていました。

楽しかったです。みんなわらっていました。

（小三　HRくん）

お誕生日おめでとう！お誕生会が楽しかったことがストレートに伝わる文章ですね！家族みんなとねこのちいちゃんが一緒にお祝いしているところがほっこりしますね。

音楽発表会の練習

二週間後に音楽発表会があります。今日は二回目の三年生全体練習でした。

歌は、「世界に一つだけの花」を歌います。今日は入退場の体けいと歌う練習をしました。

まず歌を歌いました。歌い終わった後、毎朝練習しているからだいじょうぶかなと思っていました。でも指揮者を見ていなかった人がいると先生は言っていました。わたしも見ていなかったので気をつけなきゃだなと思いました。次に入退場のならびじゅんを練習しました。入退場と、歌う体けいが全くちがうのでおぼえるのがたいへんでした。

まだ今は練習が足りないけど本番の時には、これからやる練習のせいかをいかしたいです。

（小三　UKさん）

先生に言われたことをしっかりと反省し、気をつけていることがわかりますね。一生懸命練習をして、音楽発表会が大成功になると良いですね！

鹿島神宮

昨日、いばらき県にある、鹿島神宮に行きました。門をくぐると、何百年も育っているみきの木が何十本もはえていました。人間よりじゅみょうが長いなと思いました。

鹿にえさをあげました。にんじんを分けてもらって、鹿たちがのそのそやってきて、食べてくれました。お茶屋さんでは、甘酒を飲みました。

最後は、わたあめを買いました。その通りは、七五三の人が歩いていました。

大自然に囲まれて歩いていたので、うれしかったです。

（小四　TKさん）

えさをもらいにやってくる鹿たちを「のそのそ」と表現することで、その時の様子を詳しく説明できています。自然に囲まれて、素敵なお休みを過ごしましたね！

夜ご飯にトンカツ定食だった

ひさしぶりにトンカツが出ました。おばちゃんからトンカツの肉をもらいました。その肉をトンカツにしてトンカツ定食にしました。

トンカツは、ころもがサクサクしていてジューシーでおいしかったです。

ぼくは、自分のトンカツと、おばあちゃんとおねえちゃんにもらったトンカツを二まい食べ、八まいも食べました。おべん当にもでていたのでとってもうれしかったです。また食べたいです。

（小四　NSくん）

「サクサク」や「ジューシー」という言葉でおいしさを説明しているところが素晴らしいですね！ついついお腹が減ってしまうような、表現力豊かな文章です！

★★★出来事や気持ちをより細やかに伝える★★★

ピアノの発表会

十一月十一日に、ピアノの発表会があった。しかし、発表会とはいってもお母さんがピアノの先生でその発表会だった。

発表会は二時からだったけれど、私とお母さんとおばさんで十一時くらいにホールへ行った。

準備をした後、いよいよ本番！でも、私は最後の最後でまちがえてしまった。次の発表会では、ノーミスでひけるようにがんばりたい。

（小五　TYさん）

最後の最後で間違えてしまったことをしっかりと反省し、次の発表会での目標を書くことができました！完璧に弾けるように練習頑張ってください！

本日のヒーロー

「打ったー！」

ぼくは今日試合でした。相手は県大会に出場したチームでした。前に負けていたチームでした。

二対二で迎えた七回一アウト満塁でタッチアップでホームをアウトにしてゼロ点におさえました。

ぼくは一アウト満塁でピンチヒッターでした。一球目はボール、二球目をとらえて右中間にぬけました。ぼくはサヨナラヒットを打ちました。

（小五　SBくん）

タイトルのつけ方がとても上手ですね！「どんな内容なのかな？」と読み手を引き込む工夫をしていますね！試合の様子も詳しく説明でき、臨場感あふれる文章なりました！

大切な試合

今日ぼくは、とても大切な試合をしました。なぜ大切かと言うとこの試合で六年生の県大会が終わってしまうかもしれないからです。

一試合目では、一点も取られずに三対〇で勝つことができました。一試合目の後、コーチに

「次のチームは、強い」と言われました。

この言葉でみんなの心に火がつき二試合目でも全選手が力を出しきり四体〇で勝ちました。

みんなは、

「あれ、そんなに強くなかったね」

とぼくに言ったけれどぼくは、みんなの気持ちが一試合目より高かったからだと思いました。これからも試合があるので次の試合では、一試合目から気持ちを高め勝ちたいと思います。

（小六　AKくん）

なぜ大切な試合なのかという理由がしっかりと書かれていて、気合が入っていることがよく分かりますね。また、「コーチの言葉で火がついた」など、上手に表現することができました。

●「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@rikohdai.com または、編集担当▼小川 y-ogawa@rikohdai.com まで、どしどしお寄せください。皆様のご意見を参考に、より良い紙面一作りに努めて参ります。